

## 令和7年度第2回釧路方面帯広警察署協議会議事概要

### 第1 開催日時

令和7年12月3日（水曜日）午後3時55分から午後5時10分まで

### 第2 開催場所

釧路方面帯広警察署 大会議室

### 第3 出席者

1 協議会委員 10人

会長 神田 哲也

副会長 眞野 尚史、島 順子

委員 佐々木 敬、本田 千枝子、佐藤 恵津子、安部 昭彦、菅野 勇次  
菅原 研、吉田 こず恵

2 警察署員 6人

署長 熊谷 公人 副署長 浅井 孝広

刑事・生活安全官 原 智則 地域官 今田 琢

交通官 大山 敏弘

警務官 磯角 行男（庶務担当）

### 第4 開催状況

1 会長挨拶

2 署長挨拶

3 協議内容

(1) 第1回警察署協議会で提言のあった要望への反映状況

サイレンの音に驚いて牛が暴れ出すので、牛舎の近くで突然サイレンを鳴らさないでもらいたい。

#### 【反映状況】

場合によっては、サイレンを鳴らさざるをえない時があることに理解をいただくとともに、帯広警察署関係各課で情報共有したほか、十勝機動警察隊関係部署へ要望内容の共有を図った。

(2) 令和7年10月末の管内概況

(3) 諒問事項

「高齢運転者対策について」次のとおり提言した。

【委員】 北海道内で高齢運転者が第1当事者となった交通事故が38件で全体の36.5%、帯広署管内で3件で約33%と説明を受けました。

年齢をもっと細分化したデータはありますか。

【警察】 75歳以上のデータがありますので説明いたします。

北海道で発生した交通事故第1当事者38名中11名が75歳以上となっております。

【委員】 わかりました。

私の印象としては、年齢が高くなれば当事者の数も増えると思って

いましたが思ったより少なく驚きました。

【委員】 高齢者を65歳以上でひとまとめにすることに抵抗はありました、免許証を持っている人がそれぞれの認知機能や運動能力を確認しながら運転することが大切だと感じました。

【委員】 衣料品販売業者と協働して夜光反射材を普及させる活動をしていると報道で見た覚えがあるのですが、本日の説明を受け、免許証の自主返納に向けた活動も活発に行っていると思われるので、運転者ばかりではなく、高齢歩行者にも注目して夜光反射材の普及を活性化させるのも交通事故防止には効果があるのではないかでしょうか。

【警察】 今後の活動の参考といたします。

#### (4) 質疑応答

【委員】 特殊詐欺についての説明を受けました。

私の所属する町内会では、生活安全課にお願いをして落語を使った講話を開催してもらい大変役立ったので、今後も継続していただきたいと思います。

【警察】 今後も引き続き、各種要望を受け積極的な予防活動を行います。

【委員】 熊出没時の訓練について説明を受けましたが、緊急銃猟に関わる訓練は実施しているのでしょうか。

【警察】 全ての自治体ではありませんが、本年9月に更別村と十勝振興局担当部署と当署で緊急銃猟の訓練を実施しております。

【委員】 警察がライフルを使って熊を駆除することについて報道されていますが、帯広警察署ではどのような対応をとっているのでしょうか。

【警察】 具体的な対応策等は決定しておらず、現時点、現行通り自治体、ハンター等と連携を取って対応することに変わりありません。

#### 4 次回開催予定

令和8年2月中旬から同年3月上旬に開催予定。